

街で出会った

デカ乳

白ギャル達には

濃密

種付けH

されたい秘密の理由がある





ここはとある
地方都市の
駅前商店街

リモート会議が
普及した昨今でも
旧態依然とした
会社はまだ多く

会議のために
そんな会社へ
出向く事が
俺の仕事だ



出張先の
地域の名物を
味わうことが
この仕事の
密かな楽しみ
なのだが…

なんだろう？

さっきから
商店街の
色んなところ
暇そうに座って
女の子たちを
見かける気がする…



おじさん
身体細いのに
そんなに
食べるんだ〜

今日はとりあえず
これで済ませて
朝になったら
どこかで食べ〜

地方は
店閉まるの
早いよなあ…

ふ〜!



あれ?
君はさっきの…

かわせゆい
河世唯だよ
よろしく

ね〜
そんなに
私もつまんでいい?

千口…

え?
いいけど…



店の前に
いたのにな?

イハ〜イ

やった♪
お腹減ったよ
たんだよね

ウ〜



私たち
お店に入る
お金が無くて

だから
店の外

あ…
そうなんだ

周りの子も
そんな
感じなの？

周り？うん
話さないから
わかんないな

モッ
モッ



話さない…

自分好きが
集まってる
だけだから

みんな
他人に興味
無いって感じ

ん…



友達作りとか
誰も興味なし

集まって
スマホ
見てるだけ

ヤシヤシ…

自分と同じ
不幸な境遇の
人がいる

ってことを
感じていたい
のかもね

なるほど

おじさんは
仕事だよね：
こんなとこまで
出張とか大変そう

違う事
って？

出張の時は必ず
美味しいものを
食べるのか？

あとはホテルで
マッサージ
頼んでみたりね

あ、じゃあ
今から私と
どこかに
出かけるのは？

うーん
確かに辛いし
面倒事ばかりだけど

そういう時は
何でもいから
普段と違う事を
するんだ

えっ！

マッサージ
ぐらいなら
私がして
あげるよ

：嬉しいけど
それは流石に
やばい

まあこの
初対面は
他人だと
心配だよ

じゃあ
ちよつと
スマホを
こっちは
向けて？

そういう
意味では
ないけど…

こんな
感じ？



これで私の連絡先
登録されたから
もう知り合いでしょ

あは

えっ!
そんな機能
あるんだ

赤外線...?
聞いたこと
ある気がする

あっ!



赤外線通信の
進化版って
感じだね

また話してる...
迷惑に
なるって

大丈夫
このおじさん
良い人だし



良い人
でも
ダメ!

行くよ!

じゃあね
後で連絡
してね



はは...

唯ちゃん:
って言うって
たっけ

まるで
嵐みたいなの
娘だな...

カッ



お客様
ご予約が
入っていない
ようですが…

そんな
はずは…

それじゃ
今日は
他の部屋
とかは…

申し訳
ございません
本日満室です…

そ…
そうですか



朝まで
どうするか…

あの娘も
今頃どこか
時間つぶし
しているかな



うーん
今日はホント
ついてないな…

取引先では
相手側の遅刻で
会議が長引いて
こんな時間だし

ホテルの予約は
部下に任せたら
忘れられるし…



どこかに
出かけるのせーや

マウサービ
ぐらいなら
私が…

どこかに…

さっきのマッサージの
話なんだけど
本気にしているの？

うん！いいよ！
おじさん
どこのホテルに
泊まってるの？

部下に頼んだホテルの予約が
取れてなかったみたいで
今駅に戻ってきたんだ

じゃあ
ネカフェは？

地図アプリで…
ここのお店

あ…部屋は
カップルルーム
でもいい？

一緒に入っても
怪しまれないし
防音もしっかりしてるし

防音か…たしかに
しっかりしてた方がいいし
その部屋で全然いいよ

わかった
じゃあ今から
行くね～

ここか…じゃあ
今から向かうよ



…じゃなくて
二人なの？

制服
隠さない
いけない
から
着てきた

あ…この
コート？

やほほ

おじさん
こつち
こつち

当たって…
めっちゃ
柔らかい…

まじっ



唯一人だと
心配だから
一緒にいるけど

邪魔
しないから
二人で
楽しんで

楽しむって…

はあ…



いらっしやいませ

えっと
ルームで

4…
じゃなくて
8時間
パツク
お願いします

あゝ
脚疲れたゝ

唯が
あんな場所に
するから…

あ…あれ？
三人だと
結構狭いね

おじさん
早く席に
座ってよ

うちら
疲れてるから
早く座りたいし

密室に
女の子二人と
入ってしまった

やば…
すっごい
いい匂いする

あ…
う…うん
わかった



えへへ
了解☆
じゃあ
しよっか

じゃ後は
ご自由に
どうぞ

ギギ
ギギ

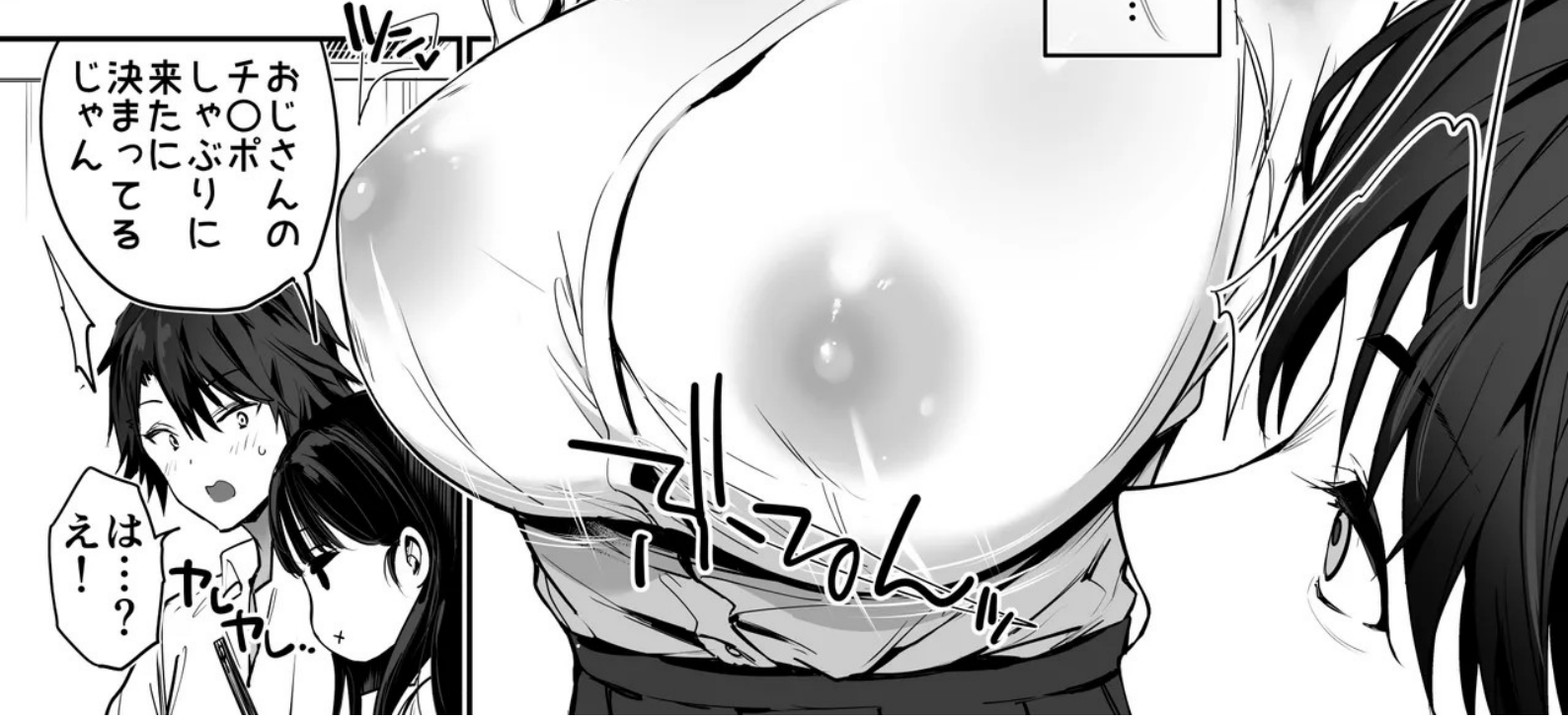


ゆ…唯ちゃん
なんで脱いで…?

…って
胸透けてる…
ノーブラ?

もしかして
まだ私が
マッサーミに
来たと思
ってるの…?

おじさん
純粹すぎ



おじさんの
チ○ポに
しゃぶりに
来たに
決まってる
じゃん

えは…?
わっ

カッ
わっ

んん

二人が
言ってること
本当なのか？

そんな都合の
良い事があるわけ…



あれ…
おじさん
皮被ってる

でも大丈夫
子供○ポも
可愛がつて
大きくして
あげまぢゅよ

ちわ…
ちよ…

おじさん

んん…
んん…
んん…

え？

感じる部分を
ピンポイントで
狙ってくる…

すごく
気持ちいい…

んん

んん



すっ...
すっ... お...

トク...

ズン、

ズン、

ガッ

横で別の女の子に
見られながら
するなんて

興奮しすぎて
あつという間に
暴発して
しまいそうだ...

ズボンの
隙間からじゃ
きついよね

パンツ下ろして
楽にしてあげる



わっ...

そもそも
まだ洗っても
いないし...

凶悪
すぎるよね

うわ何それ
やばあれ

ちよ...もう
ストリップ...
イキそうだ



もしかして
鼻詰まってる？

え？
いや…

うちらの方が
やばいから
昼からずっと
エアコンもない
外にいたんだよ？



おじさん
ボディソープの
匂いがする…

朝にシャワー
浴びたでしょ？

そう
言われると
すぐ
汗臭いけど

あゝあゝ



でも
めちゃうくちゃ
エロい匂いだ

ずっと
嗅いでいたく
なるような…

あ…また
我慢汁
出てきた

真綾の
匂いに
興奮した？

え…

えっ…と
こゆっ…と
唯ち唯ち
見て？

ちよ…可愛く
撮りなさいよ？

フェラ顔も
めちやくちや
可愛いけど…

フェラ顔
撮ってるん
だから

ブサイクに
なるに
決まってる
でしょ

も〜

あ〜

イ…クっ！

んっ

う…く
やほ…





気持ちよくて：
あつという間に：
イッてしまったに：





弁償って...
おじさん
真面目だね

え...えっと
真綾...ちゃん
...だっけ?

どうして
脱いで...

どうし
てって...

脱いだほうが
おじさん
興奮するでしょ

うちも一緒に
気持ちよくして
あげるから

そのかわり
イクごとに
ケース一個で

フルフル



いいけど
大丈夫
かな...

ケース
そんなに
高いの?

大丈夫
じゃない?

私たちが
イクごとに
減るから



...ね?
いいでしょ?

もみ

もう唯っつてば
余計な条件
付けないでよ

まあうちに
かかれば
楽勝か

またもう
こんなに
ガチガチだし

胸の谷間の
はずなのに
圧がすごい...

握るくらいの
圧力で
搾り取ろうと
してきている

それは私の
乳首攻めの
お陰じゃない？

ううん

絶対
パウチの
だっつてズリ

こんなに
可愛い
女の子二人が
競い合ってる

俺の事を
イカせようと
してるなんて...



おじゃあ私も
使っちゃおう

一日たっぷり
汗かいてるけど
平気かな？

平気
どころか…



うっ
はるるる



うぶっ…
うぶっ…

おおっ…

…んっ

唯ちゃんの
重さも匂いも
最高だぞ…
やば…
これ気持ち
良すぎる！

あはっ
大丈夫だ
気持ち
よさそう
また千〇ポが
エグい勃
ちてる

あーもう
暑っつい...

ブラ邪魔だから
脱いじゃお

真綾
素股して
あげたら？

素股？上手く
出来るかなあ

まあいっか
だからね？

うちのマ○コで
しごいてあげるから
さっさと
いっっちゃってよ



あっ…

このままだと
気持ち良すぎて
イってしまおう

んっ

それなら
唯ちゃん
の乳首を
攻めて
粉を
あかせ…

あっ…ん
おじさんっ
吸い付きすぎ
だよお…

あ
ち○ぽって
ごんな
熱いの？
気持ちい…っ

すあっ…

舌使い
すごすぎさう…

だ…ダメだ
エロすぎて
気が
紛れない！

聞いた？

おじさんも
真綾と一緒
に
いつちやいなよ

やば…
クワリ
擦れて
イキ
そう…

クリにチ○ポ
押し付けるの

めっちゃ
気持ちいい
止まらな...

あぁっ...

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ひっ...

なんだ？
また違った
感触だ...

包み込むように
吸い付いてきて

見えないけど
これもしかして
生で腔な内に
挿入してる...？



でっかい
もんね

あっ
急に腔内まで
一突きさされて
漏れちゃった

やっぱり
腔内に…!!



あーっ
ちよ…もう
びしょびしょ



あーっ
おじさんの
チのポ
気に入った?

あーっ
うん…
またすぐ
イクかも

あーっ
じゃあ私は
あいてるお口で
してもらおうかな?

あーっ
あーっ

うわ…
近すぎて
大迫力
本気汁が溢れて
べちよべちよなの
エロすぎる…

制服の下を
わざわざ
脱いでから
会いにくるなんて

唯ちゃん
本当に俺と
Hするつもりで
来てたんだ…

そ…
そ…お…

ひっ…
う…
激しっ

疑ったりせず
俺も楽しんで

気持ちよく
させてあげれば
いいんだ…!!

あ…
あ…

唯ちゃん
おま○こば
舐めるの？

すっごい
良いよお

でも
ちよっ…

アナルは
だめえ…



やば…イクっ
真綾ちゃんっ

え…あっ！
ウチもおっ…

え…あっ！
ドクドク

奥に
来てるう…っ

すごお…
お腹の中幸せに
なっちゃった…

う…く

膣内が
搾るみたい
うねって…

イイク
あ
あ
あ

セキ



やばあ
イキすぎて
力入らない…

イカせ合いの
勝負五分五分に
戻されちゃった…

んっ…
んっ…

ドク

ドク

んっ
んっ

んっ
んっ



しまー！

じゃあ今度は
私のおま○こ
使ってみる？

う…うん
今しごかれたら
またすぐ
イキそうな感じ



まだ
大きいけど
いける？

うわあ
ドロドロだし
精液の臭い
やばいよあ…

ドロ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ



唯...

挿入される瞬間がチヤばいよ?

うん...

真綾が漏らしちゃうね

中出ししたけど挿入しただけだよな?

唯ちゃんもこんなうしろに嬉しうし...

チ○ポの先っぽおま○こに押し付けられるだけでわかる...

準備いいよ? 早く来てえ...

うん... 唯ちゃん



感じる
乳首つて
こんな風
になるんだ

もう
言わないで...

ちよ...真綾...
そんなに
激しくされたら
すぐイっちゃう

頑張って
我慢してよ

ああ...
押し広げ
られて...

入っていくの
見える...

唯ちゃんの膣内
こんな
トロトロなのに

ち○ポに
がつつり
吸い付いてくる...

かまはあ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ

ヒッ
ヒッ

あひっ：
ああん
すごお
溢れて
きちやう…

う…く
また
いった…

うわあ…
ひと突きじゃん
早漏ってやつ？

それ女の子に
使う言葉なの？

…でも
合っ
て漏
れた
わし

ねえおじさん
勝負はここまで
引き分けだから

私と
うちと
もう一回して
決着つける？



この後も俺は
彼女たちと
代わる代わる
Hをすることに
なり：

じゃあ
仕切り直し
ってことで

キスから
始めよっか？

え…

ほら
おじさんも
もっとな
舌だして？

あ…ん

ん…
舌づかい
すごい…

ソロ

ん
ぬ

んんん

んんん

このプレイ
やばいな…

二人同時に
キスなんて
エロスすぎ…

さすがに
三回目には
ちよつと
小さい？

七ちゃん

かも…

これなら
私たちが
有利だね

じゃあ
10歳違い
くらいか

いーわね
くふ…

ちよつ
え…？

はあ

反って
来てる…

あは…
これは
また
凶悪だ…

うん…

おじさん
なのに
元気だね…

七ちゃん

えっ

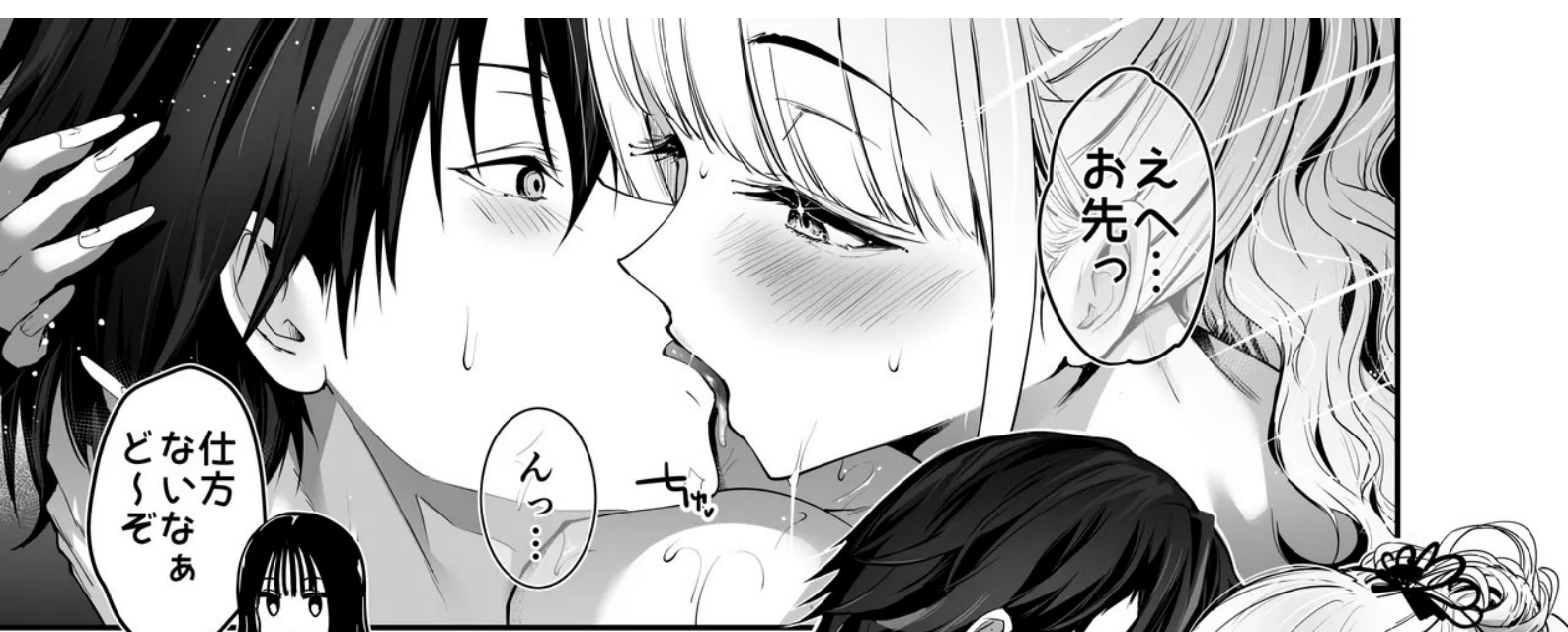
これでも
一応まだ
30前だから…

はあ

この
反り
が
ちよつと
返り
やばい…

七ちゃん

七ちゃん



えへっ…
お先っ

んっ…

仕方ないなあ
どぞ



唯ちゃん…っ

んっ…
お腹に
当たる…

勃起しすぎて
苦しそう…

はいっ…
早く来て…
んっ…

んっ…

んっ…



おっ...
...っ

ひうっ...

あああっ

立っているせいで
唯ちゃんの膈内
締まってやば...

私もこれ...
一番深いところ
何度でも
届いちゃう!

あーっ
あーっ
あーっ

ああ…
また
いった…

イキすぎて
苦し…っ

あーっ
あーっ

唯の膣内で
イカずに
耐えたんだ

じゃあ
ウチが膣内で
イカせちゃお

あーっ
あーっ
あーっ

真綾ちゃんっ

あーっ
あーっ
あーっ

おっキスギっ…

お腹の中
どこまでも
押されちゃ…

ううう…っ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ





おじさんっ
激しく
してっ…

ん…
ん…
ん…

うんっ…
うんっ…
うんっ…

んっ
んっ
んっ

あー

気持ちいいと
ちようどくるっ

もっと…
乱暴にしてっ

Fuuu

Gyuuu

Gyuuu

Gyuuu



じゃあ
これで…っ

ふっ…っ

じりっ…

息できな…

キュッ

キュッ
キュッ
キュッ

真綾ちゃんの
膣中が急に
キツいぐらいに
締まってきた…

これ
気持ち…

いっ…

おじさんっ…
イグっ…

おじさんっ

おじさん

おじさん



この体勢
顔近っ…

って
あれ？
髪が…

ヘアゴム
切れ
ちゃって…

そっか…でも
髪下ろしても
可愛すぎる

え？

#

かあおあ

ホント
唯ちゃん
すっごく
可愛いよ？

あんっ
やだも…

恥ずかしいっ

あ
嬉しいかも

見つめられて
そんなこと
言われると
恥ずかしい…



エーッ…

ヌーッ…



それやばっ...

ふっ...

上下からの
サンドイッチ
やばすぎっ...

う...
唯ちゃんっ

わたしのおま○こ
めちやくちやに
使っていいからっ

おじさんも
早く一緒に
来てええっ...

おじさん 次の出張はいつなの？
また今度イカせ合い勝負の続き
しようよ

ネカフエを
出ると
そこはもう
いつもの日常

夢のような一晩は
あまりに非現実的で
全てが幻だった
気さえしてくるが…

ん？

やっぱり
現実だ！

次の出張が
待ちきれ
ないな…



ねえママ…
あのおじさん
好きになった
でしょ？

可愛いって
言われてさ

あは…
バシた？

じゃあもう
あのおじさんで
良くない？

これ逃したら
ママの婚活が
成功するチャンス
二度と来ないよ？

張がそっち方面だから
よどうかな？

そうね

普段声かけてくる
ヤリモク男と違って
真面目でイイ男だし

ひとめ惚れかな？
出会った瞬間に
運命感じちゃった

私だって普通なら
出会ってすぐ
あんな事しないし

ふうん

じゃあ次会う時
また二人でやって
落としちゃうおっか

あ…でも
もしかしたら
うちの彼氏に
なっちゃうかも

その時は…
たまたまに
借りちな
おうかな

ほろほろ
キーン
キーン

キーン

キーン

すい
すい

は〜い